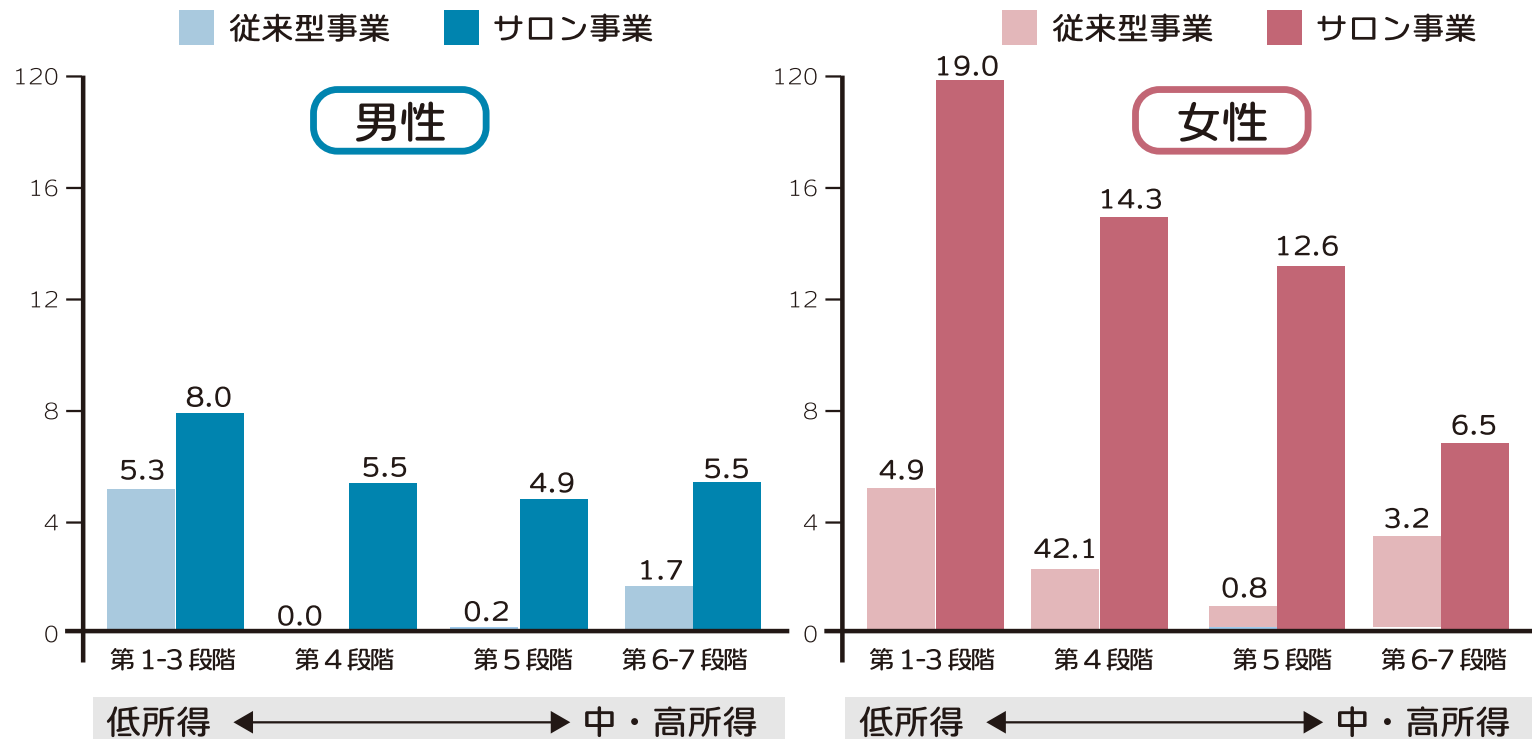


評価視点 2

所得区分別のサロン参加者割合



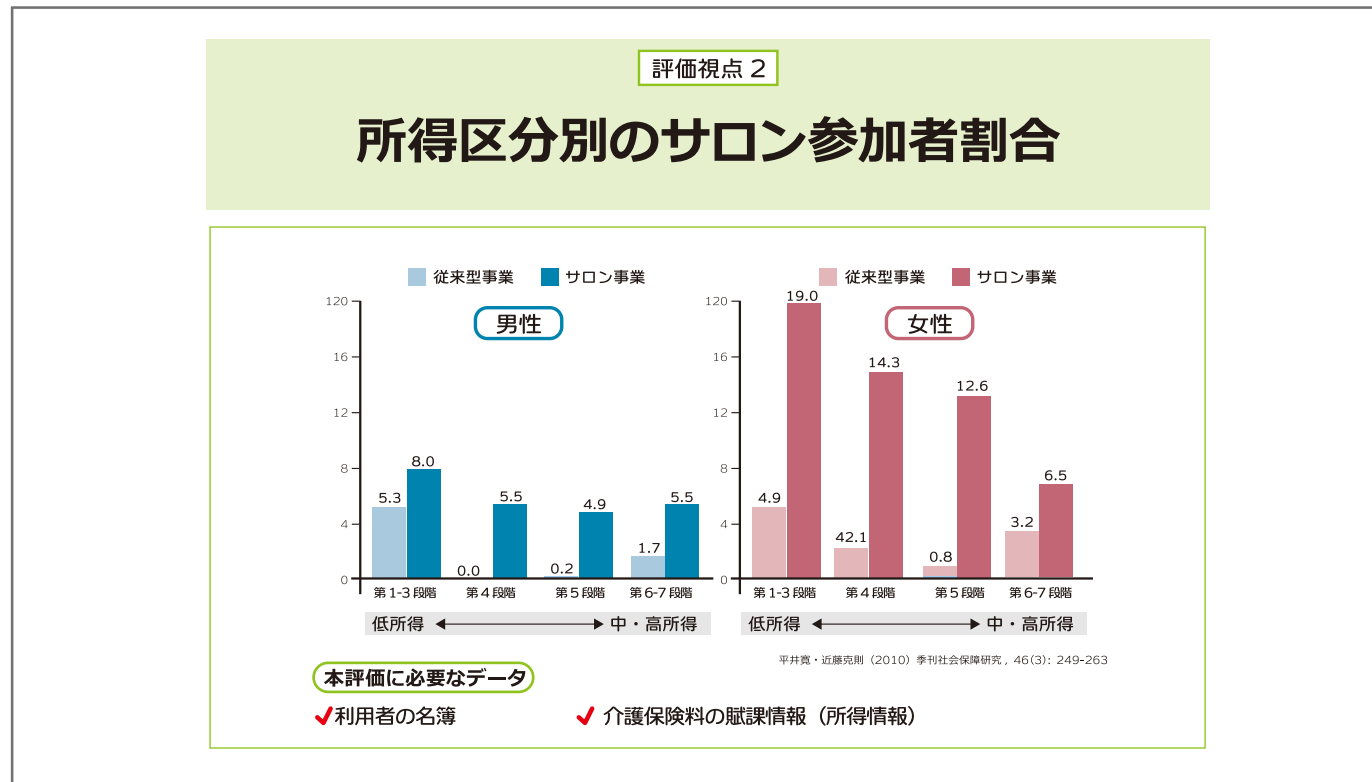
平井寛・近藤克則（2010）季刊社会保障研究，46(3)：249-263

本評価に必要なデータ

✓ 利用者の名簿

✓ 介護保険料の賦課情報（所得情報）

◆スライド解説



解説

■ どのような人が参加しているのかを検討するために、このスライドでは世帯の所得状況による参加率を算出している。

■ 当該地域では、従来型事業では中・低所得世帯での利用率が低いのに対し、住民運営型のサロン事業はとくに女性において所得が低い人ほど参加しやすいこと、健康格差の縮小に寄与できる事業であることが示されている。

■ こうした結果を示すためには、参加者の名簿と参加者の所得情報が必要。ここでは、介護保険料の賦課情報と突合し、参加者の所得情報を得ている。

